

# 総合型選抜(総合評価型) サンプル問題

---

## 建築学部

(試験問題：90分)

・サンプル問題として2025年度AO入試または公募制推薦入試の過去問題を使用している場合があります。なお、解答・解説は公開していません。

## 2026年度 神奈川大学 総合型選抜（総合評価型）（サンプル問題）

## 【総合問題（小論文またはスケッチ）】

建築学部 建築学科（建築学系／都市生活学系）

【試験時間 90分】

以下のAからDの問題の中からひとつ選択して答えよ。答えの前に、選択した問題の記号を書くこと。

## A：小論文

古代ローマの建築家であるウィトルウィウスが「建築は強用美の理が保たれるように造られるべきである」と述べているように、一般に建築は堅固さ、機能性や快適性、美しさを兼ね備え、調和していることが求められる。一方、我が国の特殊性として、火山活動、地震活動や台風が世界でもとりわけ活発であることが挙げられ、これらの自然災害によって古くから尊い人命が失われている。

建築学を学ぼうとする者として、建築としての「強用美」を満足させつつ、自然災害に立ち向かう対策として考えていることを、1000字程度の小論文としてまとめよ。

## B：小論文

近年、地球温暖化が様々な面で顕在化してきている。夏季においては、温熱環境の悪化と共に、熱中症の問題や集中豪雨などによる災害が発生している。また、海面が上昇することによる陸地の減少や、気候変動による生態系への影響も懸念されている。その一方、技術の進歩により快適な環境は手に入りやすくなっており、人々の快適性への要求も年々高まりを見せている。

建築分野におけるエネルギー消費量やCO<sub>2</sub>排出量の削減と、建築における快適な環境の実現は、いかなる形で両立を図るべきか。あなたの立場を表明した上で、その理由や方法について、1000文字程度の小論文としてまとめよ。

## C：小論文

近年、地震や台風などの自然災害による難を逃れるために、住み慣れた住居から一時避難し、避難所などでの共同生活を余儀なくされることがある。普段とは異なる暮らしの環境に慣れることができず、身体的にも精神的にもストレスを感じる場合が少なくないという。自然災害がより身近となった現在、避難した人々が不安なく安全に生活できる場は重要である。

建築学を学ぼうとする者として、避難時の生活の場を計画する際に、どのような点に注意しデザインすべきだと考えるか。具体的な提案を含めて、1000字程度の小論文としてまとめよ。

## D：ドローイング（デッサン）

記憶に残る建築物（美術館、図書館、学校、オフィスビルなど）をひとつ挙げ、ドローイング（デッサン・作図）によって解答用紙いっぱいに表現せよ。ドローイングの内容は、外観や内部の様子、あるいは平面図など自由に考えてよい。複数の図を組み合わせてもかまわない。なお、その建物の解説（設計者、建設地、建築年代、建築用途、特徴など）を100字程度で用紙の下部に記述すること。記憶の正確さは求めておらず、実際と異なる部分があっても問題ない。できるだけ、その建物の良さや特徴が分かるように表現すること。